

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2000.12.15 No. 112 発行 / (こどもの城) 広報部 ☎03-3797-5666
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



21世紀の元気 平早勉の世界

赤道直下のインドネシア、バリ島には、信仰心厚い人々が暮らしている。バリ・ヒンズー教の祭りは毎年、島のどこかの村でもよおされ、着飾って寺で熱心に祈る親子をよく目にする。

寺の境内で必ずひろうされるのが、ケチャをはじめとするバリ舞踊。もも色の太鼓が映くはす池のそばで、練習していた二人の女の子と出会った。小さいころから親しんでいる伝統芸能とあって、その顔、手つきはすっかり一人前。舞台のヒロインとなる日も近いね！

2001年は「ボランティア国際年」 “あそびのボランティア”大集合 「じょいんフェスティバル」を来秋(こどもの城)で

21世紀の最初の年、2001年は「ボランティア国際年(International Year of Volunteers=IYV)」。

日本政府が国連の場で提案し、世界に働きかけをした結果、1997年の第52回国連総会で採択されたものです。

〔こどもの城〕をはじめとする全国の児童館・児童センターなどでも、「子どもたちの遊びをサポートする」たくさんのボランティアが活動しています。いっしょに遊んだり、楽しく安全に遊べるように環境を整えたり—さまざまな年齢の人がさまざまな形でボランティア活動をしています。

2001年11月には、全国の大型児童館で活動しているボランティアに呼びかけて「じょいんフェスティバル～あそびのボランティア大集合」を〔こどもの城〕で開催する予定です。「じょいん」は、英語のJoy(喜び)とJoin(輪をひろげる)をつなぎ合わせて作った言葉です。



〔こどもの城〕の活動を支えるボランティア

〔こどもの城〕には、大学生・社会人を中心とした青年ボランティア、おおむね30歳以上の女性が参加している女性ボランティアの2つのグループがあります。登録されている人数は合わせて400人を超えています。それぞれのメンバーは、学業や仕事、家事などのあいまを利用して子どもたちの遊びをサポートしています。人形劇や折り紙遊びなどの小グループを作って、定期的に活動している人もいれば、〔こどもの城〕のさまざまなプログラム(講座や日常のプログラム)などに参加して、スタッフと子どもをつなぐ役割をはたしています。

夏休みなどには、プロジェクトチームを作って、遊びのプログラムを企画・運営。キャンプなどの野外活動では、子どもたちの班付きリーダーをはじめ、キャンプ運営を支える重要なスタッフとして活躍。〔こどもの城〕の活動に、なくてはならない存在となっています。

(写真=活動中の(こどもの城)のボランティア)



ボランティア同士の交流の機会を作る

〔こどもの城〕だけでなく、多くの児童館・児童センターでも、たくさんのボランティアが活動していると思います。ボランティア国際年をきっかけに、子どもの遊びをサポートするボランティアが集まって、交流できれば「じょいんフェスティバル」を企画しました」と担当者。

大型児童館などのボランティア・グループと〔こどもの城〕のボランティア・グループが交流

する機会を作って、フェスティバルの内容を決めていきます。さらに、全国の児童館・児童センターなどで活動しているボランティアと相互に情報交換ができるように、「じょいん」(A4・4ページ)を創刊しました。

〔こどもの城〕は、子どもたちといっしょに「遊び」をとおして、大きく育ていきたいと願っています。

2000⇨2001 冬休み特別期間
12月23日(土)～1月8日(月・祝)
12月25日～29日～1月2日～10日は休業させていただきます

開館時間 10:00～5:30
※休館日 12月25日(土) 12月29日(水) 1月1日(日) 1月2日(月) 1月3日(火) 1月4日(水) 1月5日(木) 1月6日(金) 1月7日(土) 1月8日(日) 1月9日(月) 1月10日(火)

入館料 ●こども400円(3歳以上18歳未満) おとな500円

※ボランティア国際年のロゴマーク=国連のロゴであるオリーブの葉のなかに、人間をかたどった3つのVを配置し、ボランティアが活動しているようすを表しています。

TEL 03-3797-5666 FAX 03-3797-5679
http://www.kodomonosiro.or.jp/

「ボランティア国際年」の4つの目的

「ボランティア」という言葉には、「自ら進んで、(強制されない)自由意思で」という意味がこめられています。私たちのまわりには、災害や環境破壊などさまざまな問題があります。国(政府)の力だけではなかなか解決できないものもあり、そんなとき私たち一人ひとりの力が大きな意味をもってきます。

ともに生きるための活動、災害支援の活動、環境を守る活動、開発途上国への援助や協力、そして子どもたちの遊びをサポートする活動—ボランティアのかたちはいろいろです。

「ボランティア国際年」では、次の4つの目的を提唱しています。

ボランティアについて、みんなに分かってもらう

ボランティア活動について調べたり、考えたり、話し合ったりして、ボランティアは大切で必要なことだとみんなが思うこと。

ボランティアへ参加しやすいように、社会のしくみを整える

だれでもボランティアをしたいときに気軽にできるようにすること。施設や資金などの確保・充実をさせること。



ボランティアについてのネットワークを作る

ボランティア同士の輪が広がって、より大きな力になるように、情報交換や交流をすすめること。

ボランティア活動をもっとさかんにする

ボランティア活動に参加する人数や時間がふえるようにすること。



「スキムミルク」は長期間の保存が可能です。

「スキムミルク」は、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質の「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。

※児童館給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。

スキムミルク(22g、牛乳1本分相当)と牛乳(200g、1本)の成分比較	286mg	200mg	0.62mg
たんぱく質	8.1g	6.4g	2.0g
カルシウム	5.8g	0.2g	0.3mg
ビタミンB	0.2g	0.2g	0.3mg

お問い合わせ先 **TEL 03-3591-3245**
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX 03-3595-2216

